



市長の提案理由説明

6月例会 白石市東日本大震災復興基金事業など 8億9千976万円を追加 予算の総額148億3千829万6千円に

平成24年6月定例会は、6月14日から6月27日までの14日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事1件、専決5件、条例等9件、予算4件など計19件でした。このうち、第36号議案から第41号議案については、委員会付託を省略し表決の結果、全会一致で初日に同意、承認しました。第42号議案から第54号議案については、常任委員会、予算審査特別委員会に付託して審査を行いました。一般質問では8名の議員が質問に立ち、当局の考えを質しました。定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行った後、表決の結果、いずれも全会一致で、原案のとおり可決しました。また、同日、議員提出議案（意見書）1件が上程され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審議した議案のおもなものは次のとおりです。

条例 第42号議案

白石城基金条例
東日本大震災により、白石城の漆喰及び瓦の破損等が生じたことによる復興費用に充てるため、「白石城復興寄付金」の窓口を設置し、寄付を募ったところ、平成23年度末現在で1千296万9千371円の寄付金が寄せられました。今般、白石城の災害復旧事業が国の震災復興特別交付税で全額措置されることになったので、「白石城復興寄付金」

第46号議案

は災害復旧事業に充当させず、白石城及びその関連施設の整備等の事業に有効活用するため、新たに「白石城基金条例」を制定するものです。
財産の譲渡について
株式会社富士飼料から工場立地の申し出があり、地域効果や福島第一原子力発電所放射能事故の影響による地元酪農家の救済効果等を考慮して、同社に土地・建物（現在廃校となっている福岡小蔵王分校）を譲渡するため、議会の議決を求めます。
この案件については、議会

予算 第51号議案

の議決を経ないまま操業が始まっていた事が判明したことから、その経過に対する質疑がありました。当局からの説明によると、株式会社富士飼料から申し入れがあったのは2月になってからであり、本年は残雪が多かったことから、土地の確定が遅れ、5月1日付けで仮契約を結んで、実際の利用を認めてきたとの説明がありました。
当局としては、2月から市内の牧草が利用自粛になったこと、企業が立地することにより、蔵王地区の活性化につなげたいとの思いなどから、進めてきたとの説明もありました。

- 白石市東日本大震災復興基金事業（白石市震災復興割増商品券発行支援事業助成金）
2千万円
- 焼却灰排出抑制事業
1千万円
- 保育園整備事業
1億1千485万7千円

この後、議会運営委員会を開催し、この件について協議したところ、市長から謝罪の言葉をいただきたいという見解となりました。
最後に、市長から、放射能対策並びに企業立地という特殊事情で進めてきたことをご理解いただきたいの思いと、しかし手続き上、議会に諮ることなく本日に至ったことに対する謝罪がありました。
平成24年度白石市一般会計補正予算（第1号）
これまでの予算に8億9千976万円を増額し、予算の総額を148億3千829万6千円とするものです。
おもな内容は次のとおりです。

補正予算の中に「片倉小十郎重長甲冑等複製事業」が提案されましたが、この財源は白石城復興寄付金として全国各地の方々からいただいた寄付金を原資とした白石城基金からの繰り入れであったこともあり、白石城の復興を願う寄付金を原資とする白石城基金を充てるのは不適當ではな